



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月11日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL https://www.moresco.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)両角 元寿
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 上席執行役員 (氏名)藤本 博文 (TEL) 078-303-9220
 定時株主総会開催予定日 2025年5月29日 配当支払開始予定日 2025年5月30日
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	34,374	7.8	1,391	13.6	1,821	△0.3	1,013	△21.1
2024年2月期	31,886	5.1	1,225	134.2	1,826	74.6	1,283	108.8

(注) 包括利益 2025年2月期 2,419百万円(6.8%) 2024年2月期 2,265百万円(67.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	110.47	—	4.8	4.8	4.0
2024年2月期	139.01	—	6.6	5.3	3.8

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 221百万円 2024年2月期 314百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	38,297	25,009	56.6	2,364.63
2024年2月期	37,053	23,122	54.3	2,179.85

(参考) 自己資本 2025年2月期 21,685百万円 2024年2月期 20,126百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	2,751	△1,214	△1,677	5,508
2024年2月期	2,934	△4,250	2,819	5,566

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00	415	32.4	2.1
2025年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00	413	40.7	2.0
2026年2月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00		31.7	

(注) 2024年2月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	36,500	6.2	1,750	25.8	2,100	15.3	1,300	28.3	141.76

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期	9,696,500株	2024年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2025年2月期	525,810株	2024年2月期	463,720株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	9,170,545株	2024年2月期	9,231,073株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年2月期の個別業績 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	18,918	7.6	720	50.4	1,135	15.8	745	37.6
2024年2月期	17,575	2.4	479	505.1	980	△2.4	541	△36.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期	81.22		—					
2024年2月期	58.63		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年2月期	22,796		12,959		56.8	1,413.09		
2024年2月期	23,067		12,694		55.0	1,374.85		

(参考) 自己資本 2025年2月期 12,959百万円 2024年2月期 12,694百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3頁「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は2025年4月21日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、同日、ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	15
(1) 製品およびサービスに関する情報	15
(2) 海外売上高	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化へ向けた取り組みが進み、景気も緩やかな回復基調にあります。物価の上昇は続いており、製造業は力強さを欠いております。世界経済においては、米国ではトランプ政権による追加関税等の保護主義政策の強化が行われ、中国では物価の下落および消費の回復の遅れが続く、欧州・中東の地政学リスクの動向も懸念材料であり、先行きは依然として不透明な要因が存在しております。

このような状況のもと当社グループにおいては、国内外での販売数量の増加および販売価格の是正により売上高は34,374百万円(前期比7.8%増)となり、営業利益は1,391百万円(前期比13.6%増)となりました。一方で、為替差益および持分法による投資利益の減少により、経常利益は1,821百万円(前期比0.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,013百万円(前期比21.1%減)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

特殊潤滑油部門は鍛造用油剤、難燃性作動液、ダイカスト用油剤等で売上高が減少しましたが、冷熱媒体等の販売が堅調に推移したことや、ハードディスク表面潤滑剤の売上高が大幅に増加したことにより、部門全体の売上高は前期を上回りました。ホットメルト接着剤部門では、衛生材料用途の販売減少により、減収となりました。素材部門は、主にポリスチレン可塑性用途向けの需要回復により流動パラフィンが増収となったことで、部門全体の売上高は前期を上回りました。その他部門では、子会社の大型水処理装置の販売により増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は21,640百万円(前期比7.0%増)となり、セグメント利益は871百万円(前期比48.6%増)となりました。

②中国

特殊潤滑油は日系自動車メーカーの稼働率低下の影響はあるものの中国全体での自動車生産台数の増加により、ホットメルト接着剤は衛生材料用途および空気清浄機用フィルター用途の販売が堅調に推移したことにより、ともに増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,758百万円(前期比6.3%増)となり、セグメント利益は214百万円(前期比81.9%増)となりました。

③東南／南アジア

特殊潤滑油は自動車生産台数の減少による顧客での需要の減少があるものの販売価格の是正および新規拡販により増収となりました。ホットメルト接着剤は主要顧客での在庫調整と需要減により、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は6,862百万円(前期比1.8%増)となりましたが、ホットメルト接着剤の減益により、セグメント利益は219百万円(前期比29.0%減)となりました。

④北米

特殊潤滑油は自動車生産台数の増加および前期に実施した事業譲受に伴いCROSS TECHNOLOGIES N.A. INC.を新たに連結子会社としたことで増収となりましたが、一方で統合プロセスにおけるシナジー効果の実現に時間を要しています。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,113百万円(前期比52.7%増)となり、セグメント利益は107百万円(前期比41.1%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,244百万円増加し、38,297百万円となりました。これは主に、棚卸資産が439百万円、有形固定資産が274百万円、無形固定資産が143百万円、投資その他の資産が556百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて643百万円減少し、13,288百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,125百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,887百万円増加し、25,009百万円となりました。これは主に、利益剰余金が599百万円、為替換算調整勘定が1,010百万円、非支配株主持分が328百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し、5,508百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは2,751百万円の収入(前期は2,934百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,214百万円の支出(前期は4,250百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,677百万円の支出(前期は2,819百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、国内経済においては回復基調を維持しており、今後も緩やかな経済成長が期待できるものの、深刻な人手不足や物価上昇、金利上昇や急激な為替変動の影響が懸念されます。海外においては、2025年1月に発足した米国のトランプ政権による保護貿易主義の強化策等が世界経済に及ぼすマイナスの影響、中国の景気回復の遅れ、ウクライナ戦争や不安定な中東情勢による資源価格の高止まり懸念があり、先行き不透明な状況が続くことが想定されます。

また、持続的成長のためには環境問題に対する意識の高まりや少子高齢化に伴う労働力不足等の社会課題に対応した経営戦略の遂行が求められます。

このような経営環境のもと、当社は「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立をテーマとし、2024年度から2026年度までの3年間を対象とする第10次中期経営計画を実行しています。米国では脱炭素の取り組みの揺り戻しの動きが確認されますが、この影響を注視しつつ、当社グループは、中期経営計画に掲げる①サステナビリティ経営の推進、②製品ポートフォリオの高度化、③次世代事業の創出、④業務プロセスの革新、⑤資本収益性の向上の5つの基本方針のもと、企業価値の向上に努めてまいります。

■ 第10次中期経営計画の取り組み状況について

① サステナビリティ経営の推進 ② 製品ポートフォリオの高度化

2024年5月、研究開発力の強化とグローバルビジネスの展開加速のために「機能材事業部」と「合成潤滑油事業部」を統合し、「特殊潤滑油事業部」を設置しました。それぞれの事業部が持つ機能を集約し、MORESCO Green SX製品※の拡充およびグローバル展開や半導体分野におけるPFASフリー潤滑剤の開発等をさらに進めます。サーキュラーエコノミー（循環型経済）への対応では、2025年1月に広域認定事業者認定される等、マテリアルリサイクルの実現に向けて着実に進展しています。今後もこれらの活動を推進してまいります。

※ 当社は、製品の原料調達から廃棄までのライフサイクル全体を評価し、当社の7つのマテリアリティへの貢献要素が特に大きい製品を「MORESCO Green SX (MGS) 製品」として認定しています。

③ 次世代事業の創出

ライフサイエンス部門では、ナノエマルジョン技術の商品化、オートファジー活性化薬の導出の取り組みを着実に進めています。エネルギーデバイス材料事業では、次世代太陽電池向けにペロブスカイト用封止材の高性能化に注力しています。今後もこれらの活動を加速してまいります。

④ 業務プロセスの革新

従来は研究員の経験と勘を頼りにしていたのに対して、生成AIを活用して有望な候補を絞り込むデータ駆動型のアプローチを取り入れることで、ホットメルト接着剤の開発・改良の配合検討を迅速かつ効率的に行うことができるようになってきました。また、製造現場でもDXの導入を進めており、装置の故障予測や製品の開発・改良に迅速かつ効率的に寄与していくものと期待しています。今後もこれらの活動を通じて「モレスコ・インフォマティクス」の実現を目指してまいります。

素材事業部では、新たな化学処理方法（単体処理法）の導入に向けて、実機生産の準備を順調に進めており、将来の需給状況に柔軟に対応できる生産体制の構築を進めます。

⑤ 資本収益性の向上

原材料価格高騰の影響等で厳しい収益状況にあるホットメルト接着剤事業では、高付加価値製品の開発・販売、製品ポートフォリオの転換を通じ収益性改善を進めてまいります。

また、全社的な取り組みとして事業部別ROIC逆ツリーの作成やROIC指標での目標管理を行っています。これらの活動を資本収益性の向上に繋げてまいります。

■ 第10次中期経営計画の海外戦略

海外グループにおいては、エリア特性に応じた製品展開を進めるため、タイや中国を中心にR&D体制の強化を図っています。また、中国の新工場における生産安定化、MORESCO USA Inc. の子会社であるCROSS TECHNOLOGIES N.A. INC. が保有する製品のグローバル展開を進めており、これらの活動を通じて、東南/南アジア・北米・中国を極とした海外成長市場での事業の拡大を進めてまいります。

■ 第10次中期経営計画の2026年度経営目標数値

- ・ 売上高：380億円、営業利益：27億円、経常利益：30億円
- ・ ROE：8%水準、連結配当性向：30%以上、MGS製品の売上比率：40%

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社連結財務諸表は、海外市場での資金調達の予定や企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,636	5,508
受取手形	194	113
電子記録債権	1,129	1,126
売掛金	6,618	6,892
商品及び製品	3,693	4,044
原材料及び貯蔵品	2,994	3,082
その他	750	511
貸倒引当金	△25	△16
流動資産合計	20,989	21,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,077	9,690
減価償却累計額	△4,072	△4,507
建物及び構築物(純額)	5,005	5,183
機械装置及び運搬具	11,881	12,264
減価償却累計額	△9,568	△10,124
機械装置及び運搬具(純額)	2,313	2,141
土地	2,255	2,528
リース資産	262	289
減価償却累計額	△170	△189
リース資産(純額)	92	100
建設仮勘定	33	27
その他	3,356	3,505
減価償却累計額	△2,914	△3,069
その他(純額)	442	436
有形固定資産合計	10,140	10,414
無形固定資産		
のれん	543	543
リース資産	35	26
その他	650	802
無形固定資産合計	1,228	1,372
投資その他の資産		
投資有価証券	611	654
出資金	1,940	2,280
繰延税金資産	218	229
退職給付に係る資産	1,700	1,852
その他	228	238
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,695	5,251
固定資産合計	16,063	17,037
資産合計	37,053	38,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,469	4,544
電子記録債務	439	456
契約負債	77	48
短期借入金	3,040	3,177
未払法人税等	268	233
賞与引当金	500	537
その他	1,066	1,367
流動負債合計	9,860	10,362
固定負債		
長期借入金	3,065	1,940
退職給付に係る負債	543	548
その他	463	438
固定負債合計	4,071	2,926
負債合計	13,931	13,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,971	1,972
利益剰余金	14,674	15,273
自己株式	△561	△649
株主資本合計	18,202	18,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	145
為替換算調整勘定	1,200	2,210
退職給付に係る調整累計額	597	616
その他の包括利益累計額合計	1,924	2,972
非支配株主持分	2,996	3,324
純資産合計	23,122	25,009
負債純資産合計	37,053	38,297

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	31,886	34,374
売上原価	22,902	24,414
売上総利益	8,984	9,960
販売費及び一般管理費	7,759	8,569
営業利益	1,225	1,391
営業外収益		
受取利息	25	38
受取配当金	22	25
為替差益	251	97
持分法による投資利益	314	221
補助金収入	—	97
その他	103	69
営業外収益合計	714	547
営業外費用		
支払利息	12	67
固定資産除却損	7	1
開業費償却	67	—
その他	27	49
営業外費用合計	113	117
経常利益	1,826	1,821
特別利益		
負ののれん発生益	285	—
特別利益合計	285	—
特別損失		
減損損失	31	188
投資有価証券評価損	—	48
段階取得に係る差損	25	—
特別損失合計	56	236
税金等調整前当期純利益	2,055	1,585
法人税、住民税及び事業税	534	452
法人税等調整額	72	△41
法人税等合計	606	411
当期純利益	1,449	1,174
非支配株主に帰属する当期純利益	165	161
親会社株主に帰属する当期純利益	1,283	1,013

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益	1,449	1,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	16
為替換算調整勘定	424	1,102
退職給付に係る調整額	301	23
持分法適用会社に対する持分相当額	31	105
その他の包括利益合計	816	1,246
包括利益	2,265	2,419
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,962	2,060
非支配株主に係る包括利益	303	359

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,118	1,976	13,760	△567	17,287
当期変動額					
剰余金の配当			△369		△369
親会社株主に帰属する当期純利益			1,283		1,283
自己株式の処分		△0		6	6
連結子会社の増資による持分の増減		△6			△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△6	914	6	914
当期末残高	2,118	1,971	14,674	△561	18,202

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	74	879	293	1,246	2,706	21,240
当期変動額						
剰余金の配当						△369
親会社株主に帰属する当期純利益						1,283
自己株式の処分						6
連結子会社の増資による持分の増減						△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	53	322	304	678	290	968
当期変動額合計	53	322	304	678	290	1,883
当期末残高	127	1,200	597	1,924	2,996	23,122

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,118	1,971	14,674	△561	18,202
当期変動額					
剰余金の配当			△414		△414
親会社株主に帰属する当期純利益			1,013		1,013
自己株式の取得				△100	△100
自己株式の処分		1		12	13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	599	△88	512
当期末残高	2,118	1,972	15,273	△649	18,714

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	127	1,200	597	1,924	2,996	23,122
当期変動額						
剰余金の配当						△414
親会社株主に帰属する当期純利益						1,013
自己株式の取得						△100
自己株式の処分						13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18	1,010	19	1,047	328	1,375
当期変動額合計	18	1,010	19	1,047	328	1,887
当期末残高	145	2,210	616	2,972	3,324	25,009

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,055	1,585
減価償却費	1,188	1,295
減損損失	31	188
持分法による投資損益(△は益)	△314	△221
有形固定資産売却損益(△は益)	△9	△9
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△502	△157
賞与引当金の増減額(△は減少)	36	35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△9
受取利息及び受取配当金	△47	△63
支払利息	12	67
売上債権の増減額(△は増加)	623	165
棚卸資産の増減額(△は増加)	44	△142
仕入債務の増減額(△は減少)	△430	△87
負ののれん発生益	△285	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	48
補助金収入	—	△97
その他	1,133	508
小計	3,538	3,104
利息及び配当金の受取額	126	116
利息の支払額	3	△64
法人税等の支払額	△733	△502
補助金の受取額	—	97
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,934	2,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	70
有形固定資産の取得による支出	△2,452	△969
有形固定資産の売却による収入	41	9
無形固定資産の取得による支出	△265	△175
投資有価証券の取得による支出	△5	△69
事業譲受による支出	△1,300	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△232	—
その他	△37	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,250	△1,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	271	△154
長期借入れによる収入	3,536	—
長期借入金の返済による支出	△575	△899
自己株式の取得による支出	—	△100
配当金の支払額	△369	△414
非支配株主への配当金の支払額	△19	△31
その他	△25	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,819	△1,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	△123	82
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,380	△58
現金及び現金同等物の期首残高	4,186	5,566
現金及び現金同等物の期末残高	5,566	5,508

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に化学品(特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤)を製造・販売しており、国内においては当社が、海外においては中国、東南/南アジア、北米の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「東南/南アジア」および「北米」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1,2	連結財務 諸表計上額 (注)3
	日本	中国	東南/ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,229	3,536	6,737	1,384	31,886	—	31,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,491	420	47	8	1,966	△1,966	—
計	21,720	3,956	6,784	1,392	33,852	△1,966	31,886
セグメント利益	586	118	309	181	1,194	31	1,225
セグメント資産	23,817	7,340	6,788	2,522	40,466	△3,414	37,053
その他の項目							
減価償却費	686	142	230	23	1,080	—	1,080
のれんの償却額	76	—	—	7	83	—	83
持分法適用会社への 投資額	1,939	—	—	—	1,939	—	1,939
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	475	1,510	187	1,054	3,226	—	3,226

- (注) 1. セグメント利益の調整額31百万円には、セグメント間取引消去2百万円、棚卸資産の調整額28百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。
2. セグメント資産の調整額△3,414百万円には、報告セグメント間の相殺消去△4,807百万円、全社資産1,393百万円が含まれております。全社資産は、報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金並びに投資有価証券)であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
「日本」セグメントにおいて、将来回収見込みのない資産について減損損失31百万円を計上しております。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1, 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	日本	中国	東南/ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,640	3,758	6,862	2,113	34,374	—	34,374
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,707	536	8	16	2,268	△2,268	—
計	23,348	4,294	6,870	2,129	36,641	△2,268	34,374
セグメント利益	871	214	219	107	1,411	△20	1,391
セグメント資産	24,326	7,196	7,319	2,771	41,612	△3,315	38,297
その他の項目							
減価償却費	653	263	241	51	1,208	—	1,208
のれんの償却額	16	—	—	50	67	—	67
持分法適用会社への 投資額	2,279	—	—	—	2,279	—	2,279
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,230	31	101	29	1,391	—	1,391

- (注) 1. セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額△20百万円および貸倒引当金の調整額△1百万円が含まれております。
2. セグメント資産の調整額△3,315百万円には、報告セグメント間の相殺消去△4,051百万円、全社資産737百万円が含まれております。全社資産は、報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金並びに投資有価証券)であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
「日本」セグメントにおいて、将来回収見込みのない資産について減損損失188百万円を計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	2,179円85銭	2,364円63銭
1株当たり当期純利益	139円01銭	110円47銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	潜在株式がないため記載しておりません。	潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,283	1,013
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,283	1,013
普通株式の期中平均株式数(株)	9,231,073	9,170,545

(注) 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,122	25,009
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	2,996	3,324
(うち非支配株主持分(百万円))	(2,996)	(3,324)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	20,126	21,685
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	9,232,780	9,170,690

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
特殊潤滑油	19,697	112.0%
素材	4,234	108.3%
ホットメルト接着剤	8,332	98.8%
エネルギーデバイス材料	296	148.5%
その他	1,814	102.8%
合計	34,374	107.8%

(注) 従来、「合成潤滑油」を独立掲記しておりましたが、組織変更に伴い、当連結会計年度より「特殊潤滑油」の区分に含める方法へ変更しております。

この変更に伴い、前年同期比についても変更後の区分で表示しております。

(2) 海外売上高

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	11,812	2,456	212	14,479
II. 連結売上高(百万円)				34,374
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	34.4%	7.1%	0.6%	42.1%

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、マレーシア、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。